

JA長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター
がん相談支援センター 広報誌

こすもす

2020.1

Vol.2



Contents

- AYA世代のがんについて
- AYA世代のがん患者の悩み
- AYA世代がん患者の子どものサポート
- 就労相談
- インフォメーション

AYA世代がん特集 第1弾

「AYA世代がん」をご存じですか？

AYA(思春期・若年成人:Adolescent and Young Adult: AYA)世代はがんの罹患および死亡率が最も低い世代であり、がん対策においてこれまで取り組まれていない対象でした。しかし、この世代のがんは、多様ながん種のため多診療科がかかわるものの、希少なため治療法が未確立であったり、AYA世代が抱える特有の課題への対応が不十分など、適切な医療や支援が提供できない可能性があるため、「第3期がん対策推進基本計画」において初めてAYA世代のがん対策が明記されました。

注)AYA世代を意味する年齢の幅は、国によりさまざまです。日本では、政策を考える上で、15歳から39歳の広い年齢層をさすことが多いです。

AYA世代の特徴

思春期・若年成人(Adolescent and Young Adult: AYA)世代は、生物学的、精神的、社会的に大きな変化を遂げる時期です。AYA世代の特徴をとらえ、理解し対応しようと歩み寄っても、個々に異なる課題に直面されるために、大人にとっては近寄りづらい存在といえます。AYA世代は「自立」と「依存」の間を揺れ動いており、医療者のサポートがゆき届きすぎることによる心理社会的な発達を滞らせる可能性もあります。AYA世代を生きるとは、側にいる人や社会との距離を適宜変化させながら、その時々々の夢に向かって歩み、唯一無二の自己の価値観を確立していくことといえるでしょう。

AYA世代がん患者と向き合う際にまず大切なことは“患者”としてではなく、多様性に富む“人”としての存在を尊重することが大切といえます。

罹患率が高いがん種順位(全がんに締める割合)

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|--------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|-------------|
| 0～14歳 | 白血病 38% | 脳腫瘍 16% | リンパ腫 9% | 胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 8% | 神経芽腫 7% |
| 15～19歳 | 白血病 24% | 胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 17% | リンパ腫 13% | 脳腫瘍 10% | 骨腫瘍 9% |
| 20～29歳 | 胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 16% | 甲状腺がん 12% | 白血病 11% | リンパ腫 10% | 子宮頸がん 9% |
| 30～39歳 | 女性乳がん 22% | 子宮頸がん 13% | 胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 8% | 甲状腺がん 8% | 大腸がん 8% |

国立がん研究センターの資料を基に作成

がんを経験したAYA世代の年代別の悩み

| | 15～19歳 | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～39歳 |
|----|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 1位 | 自分の将来 | 自分の将来 | 自分の将来 | 自分の将来 |
| 2位 | 後遺症・合併症 | 仕事 | 仕事 | 仕事 |
| 3位 | 体力の維持 または運動 | 不妊治療や 生殖機能 | 不妊治療や 生殖機能 | 家族の将来 |
| 4位 | 学業 | 経済的なこと | 診断・治療 | 経済的なこと |
| 5位 | 不妊治療や 生殖機能 | 後遺症・合併症 | 後遺症・合併症 | 不妊治療や 生殖機能 |

平成27～29年厚生労働科学研究
「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」調査より

AYAがん患者のニーズ

「情報が欲しかったがなかった」62.5%
「相談したかったができなかった」54.7%

AYAは診療科に分散患者のがん体験、発達・社会的背景さまざま



治療が終わってからのこと

姓と生殖のこと
友達、恋人、家族のこと
お金のこと
学校のこと

共通の悩みは「自分の将来のこと」

仕事のこと

情報が欲しいとき・相談したいとき

* 国立がん研究センターがん情報サービス
* がん相談支援センター

AYA世代がん患者、がん経験者、健康AYAの悩み 上位10項目

| 順位 | 治療中のがん患者 (n=207) | がん経験者 (n=136) | 健康AYA (n=200) |
|----|------------------|-----------------|--------------------|
| 1 | 今後の自分の将来のこと | 今後の将来のこと | 今後の自分の将来のこと |
| 2 | 仕事のこと | 不妊治療や生殖機能に関する問題 | 仕事のこと |
| 3 | 経済的なこと | 仕事のこと | 経済的なこと |
| 4 | 診断・治療のこと | 後遺症・合併症のこと | 健康のこと |
| 5 | 不妊治療や生殖機能に関する問題 | 体力の維持・または運動すること | 学業のこと |
| 6 | 家族の将来のこと | がんの遺伝の可能性について | 家族・友人など周囲の人との関係のこと |
| 7 | 後遺症・合併症のこと | 結婚のこと | 体力の維持、または運動すること |
| 8 | 生き方・死に方 | 生き方・死に方 | 容姿のこと |
| 9 | 容姿のこと | 容姿のこと | 家族の将来のこと |
| 10 | がんの遺伝の可能性について | 経済的なこと | 自分らしさ |

* AYA世代は15～39歳と定義

* 「がん患者」は調査時に医療機関においてがん治療中もしくはがん治療を終了して1年以内の人「がん経験者」はがん治療を終了して1年以上が経過した人「健康AYA」はがん罹患経験のない人

このような書籍や冊子も参考にしてください!!



「AYAがん患者の子どもをサポート」

「2019年10月11日 佐久医療センターにて「AYA世代がん患者の子どもをサポート」と題しまして自治医科大学附属病院 緩和ケア科の公認心理師、稲田美和子先生よりご講演いただきました。「なぜ、子どもにがんを伝えるか?」「子供に伝える際のポイント」「伝えるとき、伝えた後のサポート」についてなど教えていただきました。

患者さんやそのご家族と関わる中で、私たち医療者は、患者やそのお子さんに対して何でもやってあげたいという思いがあり、手厚いサポートができないと不全感や無力感が残ってしまいます。しかし、子ども、家族の本来の力を信じることがとても大切で、その力を発揮できる土壌を作ることが私たち医療者の役割だと教えていただきました。

ポイント

子どもたちに必要な情報3つの“C”

- It is called Cancer (「がん」という病気)
- It is not Catchy (うつる病気ではない)
- It is not Caused by anything they did (こどもがしたこと/しなかったことによって引き起こされたものではない)

ポイント

忘れてはいけない大切なこと…

- 子どもに伝える準備が出来ていない親に、伝えることを無理強いしない
- 基本的には、“家族の力”を信じる
医療者が、保護者の役を担わないこと
患者が亡くなった後も子どもをケアするのは、親である配偶者
父親/母親が、どう子どもに向き合っていけるかを支える
- 子どもと話したあとにフォローアップすることを約束する



このような書籍や冊子も参考にしてください!!

AYA世代がん患者支援には多職種チームが必要

様々な問題を抱えるAYA世代がん患者の問題を解決するために、多職種が関与した体制づくりが必要です。AYA世代がん患者が来院した場合、早期から医師のみならず多職種が関与しながら診療する体制を確立させる必要があります。また、AYA世代に発症するがんが「多様」であり、診療科が複数科にわたることも問題とされ、主治医となる診療科が不明確であることの弊害も多いようです。

佐久医療センターでは、本年度よりAYA世代サポートワーキンググループを立ち上げ活動を始めています。しかし、自施設単独では、AYA世代がんの支援に対するリソースが限られ、生殖医療、教育機関、就労支援団体、在宅医療、ピアサポートなど外部機関との連携も重要となり、AYA世代がん患者のサポート体制は、今後の佐久医療センターの課題ともいえるでしょう。

AYAがん患者さんのご相談は
がん相談支援センターまで



インフォメーション

がんサロン「もくらん」

開催日時 第2・第4木曜日
(13:30~15:30)

場所 佐久医療センター
がん相談支援センター
(文化交流室)



今後のがんサロンもくらん
ミニ勉強会の予定

- 1月 就労相談
- 2月 東洋医学のホントの力
- 3月 パステル画
- 4月 お花見
- 5月 がんのリハビリテーション
- 6月 口腔ケア

がん診療センター講演会のご案内

もしも一年後、
この世にいないとしたら

～がん体験者の心の軌跡と、その人に寄り添うこと～

講師 国立がん研究センター中央病院
精神腫瘍科 科長 清水 研先生
日時 令和2年2月7日(金)18時
場所 佐久医療センター
3階会議室1.2.3

就労相談会

～治療と仕事の両立に関する様々な困りごと～

相談無料
要予約

社会保険労務士による相談会 (長野県がん患者への就労支援推進事業)

労務・社会保険の専門家である社会保険労務士が、休職制度や医療保険・年金制度、労働者の権利などについて相談に応じます。

ハローワーク長野による就職相談会

ハローワーク長野の就労支援ナビゲーターが、能力や適性、病状や治療状況を考慮して、新たな就職を支援します。

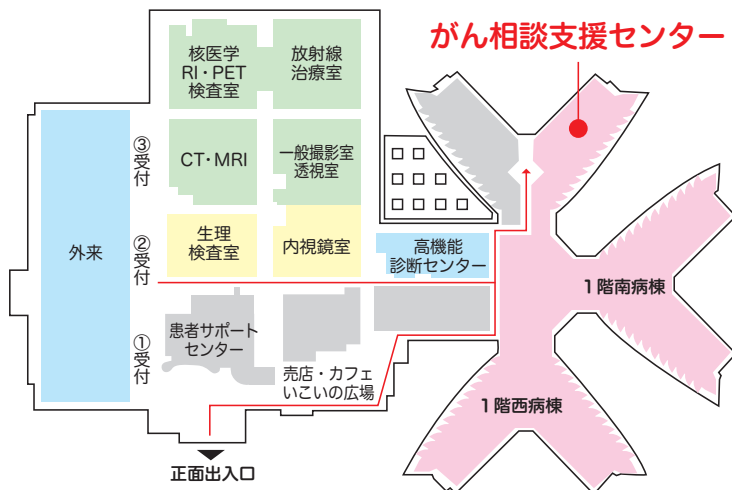


治療と仕事の両立支援相談会

長野産業保健総合支援センターの両立支援促進員が治療と仕事の両立を支援します。また、ご希望により勤務されている会社を訪問し、治療と仕事の両立が可能な職場づくりのアドバイスをを行います。

ご相談・お問い合わせはがん相談支援センターまで

佐久医療センター 1階平面図



編集後記

拙い誌面ながらも、第2号発行の運びとなり、ほっとしております。少しでも皆様のお役にたつ広報誌にしていきたいと思っています。ご意見などございましたら、何なりとがん相談支援センターまでお寄せください。新年が、皆様にとってよりよい年でありますように。本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



JA長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター

がん相談支援センター

☎0267-88-7184